

庁舎建設事業に関する提言

平成22年7月

稲敷市庁舎建設100人市民会議

庁舎建設100人市民会議の提言について

新庁舎建設事業はいくつかのプロセスを経ながら、平成21年5月に新市長が誕生して以来、「身の丈にあった庁舎」を市民と共同で検討することとなった。そこで、平成22年5月に『稲敷市庁舎建設100人市民会議』が組織され、5回に亘るワークショップが行われ、本事業計画について検討が加えられた。

市民の方々の熱心な協議の結果、提言書をまとめることができた。ここに市長に提言書を提出し、この提言が本事業計画に十分反映されることを希望する次第である。

平成22年7月15日

稲敷市庁舎建設100人市民会議

代表 小場瀬 令二

1. 基本理念(身の丈にあった新庁舎の建設)

①財政を考えた総事業費の抑制(経済性)

稲敷市では、財政が逼迫しており、また、教育環境改善のための将来投資、高齢者対策のための投資など目白押しの状況にある。そこで、総事業費については、新庁舎建設費、外構工事費、既存校舎取り壊し費、活用しない既存庁舎取り壊し費およびその跡地利用事業費を含めて、35億円程度を一つの目標にする。

②長期的視点を持った経済性の追求

「安ければ安いほどよい」という発想は、「総事業費が単純に安ければよい」ということになりやすいが、将来の庁舎維持費も含めて総経費が安い必要がある。つまり、「当初は多少費用がかかっても、後で維持費がかからないこと」が肝要である。

③経済性と環境性や機能性のバランス

また、「安く建設できるから」と言って、環境性(例えば、既存建物の再利用)や機能性(職員の作業性向上による市民へのサービスレベルの向上)を無視することは好ましくない。この経済性と環境性や機能性のバランスをとることが必要である。

④少子高齢化社会を前提とした新庁舎建設

今後、ますます少子高齢化が進行すると予想される。稲敷市においても、人口減が当面止まる気配はない。そのような時に、新庁舎を建設することに鑑み、高齢者対策としての建物のバリアフリー化をはじめ、公共交通の充実、人口減を想定した縮小社会にも対応できる新庁舎建設を考えることが必要である。特に、公共交通の充実については、現況の施策のかさ上げした対策を今後検討する必要がある。

⑤環境時代の庁舎のシンボル性

市庁舎は街のシンボルであるべきだが、豪華さがシンボルであることを我々の市は拒否しよう。むしろ、環境の時代に相応しいシンボル性のある庁舎が求められる。つまり、環境的な配慮が随所にみられるような建物、古いものと新しいものが有機的に融合しているような建物を我々は市のシンボルとしたい。

⑥市民会議の提言がいかに関反映されたかのチェック

庁舎建設100人市民会議の提言は、単に言い放し・聞き放しでは困るので、必要なタイミングで、行政は市民に計画の内容を十分に説明し、市民によるチェックを受け、質の高い住民参画のよき先例になることに努めてほしい。

2. 基本的な計画条件

①既存校舎の部分的再利用

江戸崎西高校の既存校舎のうち、北側校舎（特別教室棟）については、耐震補強がされていることから再利用し、南側校舎（管理教室棟）については、耐震補強がされていないことから撤去する。

②既存校舎をどのように利用するのかの十分な検討

ただし、再利用する北側校舎（特別教室棟）についても、30年程度の将来を見越して、どのように利用することが経済性・機能性があるのかを十分検討して、利用計画を立案する必要がある。

③既存体育館の存廃の検討

既存体育館の存廃については、市民の意見が分かれて結論には至らなかった。ただし、存続する場合、最低限の補修を行い、維持費用が極力かからない範囲で利用することが考えられる。具体的な利用イメージ、維持費用の軽減が可能かどうかを十分検討して、存廃を決定して欲しい。

④市民用駐車台数

市民用駐車台数については、職員用駐車台数が十二分に確保できることから、必ずしも十二分に確保する必要はなく、最低限でよいと思われる（120台程度）。ただ、高齢者や身障者、女性ドライバーのことも考慮して、余裕のある駐車場計画が望まれる。

⑤市民広場は今後のあり方

各種イベントや市民の日常的な利用、災害時などの非日常的な利用が想定されるので、芝生広場などの多目的空間として整備することが想定される。

⑥実用本位の市民ホール

他都市の実例では、広々とした市民ホールが新庁舎の目玉になっているが、本新庁舎では市民ホールを広々と確保する必要性については、積極的な意見は少なかった。ただ、来庁者が集中する時期などが想定されるので、そのような場合に対応できる計画が必要である。

⑦低層の市庁舎

土地柄や高齢化社会を見据えて、低層の市庁舎を希望する意見も出た。ただ、低層の市庁舎にするかどうかに関しては、その経済性や機能性を十分に検討する必要がある、低層化は絶対条件ではないと考える。

3. 新庁舎についての個別的な意見, 提案

①既存北側校舎（特別教室棟）に配置する機能

既存北側校舎（特別教室棟）に配置する機能としては、休日診療所用スペース、会議室、倉庫、市民活動のためのスペース（NPOや商工会など）などが想定される。他方、市役所機能の中で、窓口業務の少ない部局や議会関連部局などが、ここに配置されることもあり得るが、これについては関連部局と十分協議を行う必要がある。

②新庁舎の正面性やロータリーの位置

新庁舎の配置について、新しい案（新築庁舎+既存北側校舎（特別教室棟）の活用）が提案されたが、そのメインの入口やロータリーの位置については、市民側からいくつかのコメントがあった。必ずしも、提案された新しい案の配置だけにこだわらず、今後も、基本設計検討の中でより良い案を探求してもらいたい。

③天井高や吹き抜けの導入

天井高については、高い方が良いという考えが主流であったが、吹き抜けを設ければ、低い天井でもよいという主張もあった。いずれにしても、来庁者にとって可視性が高く、わかりやすい庁舎にする必要があり、必要な天井高を確保し、また、必要に応じて、吹き抜けを配置することが考えられる。

④環境を配慮した新庁舎（環境文化を感じさせる）

ソーラー発電、雨水の利用、風通しの確保、自然採光の調整、屋上緑化、壁面緑化、エコな建材利用などの新エコシステムの導入が普及しており、新庁舎での導入については、積極的に取り組んでももらいたい。そのことにより、稲敷型の環境文化を感じさせる、新しい庁舎でありたいと考える。ただし、その維持費用を十分に検討して導入を行うこと。また、既存施設の取り壊しに際しても、廃材が最小限になる努力が必要である。

⑤子育て層にも配慮した新庁舎

子育て層にとって、新庁舎に取り入れてほしい機能としては、キッズ用スペース、ミニ遊園地（公園）などが考えられる。

⑥職員が市民に対応しやすい新庁舎

現在、役所業務もOA化が進み、職員の多くは、専らPC（パソコン）に向かって、業務を行っている。このため、市民が窓口相談するにも、躊躇される場合もあるとの指摘がされた。そこで、人員配置や業務の効率化の観点から、どのような改善が考えられるか、十分な検討を行ってもらいたい。特に、机の配置、銀行などで利用されている「呼び出しシステム」などについて、研究してもらいたい。また、窓口における市民のプライバシーの保護という観点も十二分に配慮してもらいたい。

4. 既存4庁舎の統廃合・利活用について

4-1. 既存4庁舎の統廃合・利活用に関する基本的な考え方

①効率性の視点以外の目配り

効率性の視点のみから統廃合・利活用を検討するのではなく、地域の特性や将来の交流人口の増加策などの視点も入れて統廃合・利活用を検討する。

②他の各種施設も勘案した検討

各種施設の統廃合や機能の適正配置を勘案しながら、既存4庁舎の統廃合・利活用を検討する。

③利用のされ方，耐震性，維持費の観点からの統廃合・利活用の検討

既存4庁舎および関連施設の統廃合・利活用については、建物の現在の利用のされ方，将来の使われ方の可能性，耐震性，維持管理費がどの程度かかりそうかを勘案して，検討を進めるものとする。

④地区協働支援センターの設置

新耐震基準に適合していない各地区の既存庁舎は廃止するにしても，地域の要望を的確・迅速にとらえて，行政に反映し，また，簡単な行政サービス（例えば，各種証明書の発行など）に対応する施設として地区協働支援センターを設置する。

4-2. 江戸崎庁舎

江戸崎庁舎の本庁舎については，新耐震基準に適合していないため，取り壊しも止むを得ないというのが，大方の市民意向であった。また，新耐震基準に適合している分庁舎（新しい庁舎）の利用については，SOHO（※1）用貸しオフィス，シルバー人材センター，老人ホーム，江戸崎地区の集会場，跡地に野外ステージを建設しその付属屋といったアイデアが出たが，具体化のために，今後の検討が必要と思われる。

跡地利用については，以下のようなアイデアが出たが，親水公園の拡充用地として利用する案が有力であり，この場合，各種イベントに対応できるように，広場として整備することが考えられる。また，江戸崎の場合は，商店街をはじめ，街づくりが大きな課題だと思われるので，それらのプロジェクトと連携しながら，総合的な観点から計画を練っていく必要がある。

※1 Small Office Home Office の略。在宅で IT 機器等を使って仕事をする形態など。企業を支援する施設としてもスモールオフィスを提供する場合も含む。

- ◇公園的利用・・・・・・・・・・親水公園を拡充する案を中心に、遊歩道やゲートボール場など、公園的に利用する。
- ◇イベント等用地・・・・・・・・・・フリーマーケットやイベント、コンサート等の用地として利用する。野外ステージの建設というアイデアもあった。
- ◇新施設の建設・・・・・・・・・・水運で栄えた過去になぞらえて、「水の駅いなしき」を整備する。
- ◇駐車場として利用・・・・・・・・・・隣接するカスミの駐車場として貸し出す。市民の駐車場にする。
- ◇道路用地として利用・・・・・・・・・・危険なカスミの抜け道をやめるため、道路を敷設する。
- ◇保留地・・・・・・・・・・市街地の区画整理のタネ地として保留する。

4-3. 新利根庁舎

新利根庁舎および隣接する公民館については、取壊しの方向で了承された。ただし、既存の消防署については、その移転は、サービスの低下を招くという、強い不安感が訴えられた。また、現在ある「ふれあいセンター」の機能強化が強く求められた。特に、ボランティア活動の拠点、図書室機能、配食機能、地区協働支援センターや住民のスペース、子育て支援センターといった、現在ある活動や機能についての存続や機能強化が求められる。また、情報公開室といった機能を付加したらどうかという意見もあった。

跡地利用については、稲敷のお祭りセンターや盆踊り関係の展示空間、市営住宅の建設用地といったアイデアが出た。また、高校や大学、宗教法人に全てを売却するというアイデアも出た。当該庁舎は、総合運動公園に隣接していることを考えると、交流人口を増加するためにも、首都圏の学校法人の合宿所用地として売却することも考えられる。

4-4. 桜川庁舎

桜川庁舎の本庁舎の解体については、新耐震基準に適合していないため、特に異論はなかったが、体育室のある公民館については、存続を望む強い意見が出た。新耐震基準に適合している分庁舎(新しい庁舎)に、現在の公民館機能を移すことは可能かと思われるが、体育室機能を付加することは無理と思われる。体育室の使い方やなどを踏まえて、兼ね合いを検討する必要がある。

4-5. 東庁舎

東庁舎の本庁舎の解体については、新耐震基準に適合していないため、特に異論はなかった。また、新耐震基準に適合している分庁舎(新しい庁舎)については、総合窓口機能のほかに、保育園や貸出部屋として利用することが提案された。保育園機能については、隣地に市立幼稚園があることから、幼稚園と保育園の合体(幼保一元化など)が指されていることも念頭に置き、今後の利活用を考える必要がある。

また、本敷地は国道 125 号線に直接面していることから、道の駅などとして利用することも十分考えられるのではないかという提案もあった。

以上

稲敷市庁舎建設100人市民会議の検討経過

「稲敷市庁舎建設100人市民会議」は、市民共有型の事業推進を目指し、昨年10月から再開された庁舎建設事業の一環として、新庁舎と合わせて既存4庁舎の利活用などについて、市民の立場からの意見やアイデアを提案する組織として、本年5月に設置されました。

庁舎建設100人市民会議は発足してから、先進地視察や建設予定地の江戸崎西高跡地の見学を含め、5回に亘るワークショップを行ってきました。

■検討経過

開催回	開催日（場所）	内 容
第1回	平成22年 5月9日（火） （桜川公民館）	○委嘱状交付など ○ワークショップ ・既存4庁舎の現況評価について ・新庁舎及び既存4庁舎の利活用について・・・など
第2回	平成22年 5月17日（月）	○先進地視察 ・つくば市 ・八千代町
	平成22年 5月19日（水）	○先進地視察 ・北杜市（山梨県） ・山梨市（山梨県）
	平成22年 5月27日（日） （あずま生涯学習センター）	○先進地視察報告会 ○ワークショップ ・先進事例（4市町）について ・ストック活用と新設について・・・など
	平成22年 5月26日（水） 6月6日（日）	○江戸崎西高跡地見学会 ・敷地等の状況 ・主な既存施設の状況
第3回	平成22年 6月13日（日） （新利根体育館）	○事業財源等について ○新庁舎計画（比較案）について ○ワークショップ ・新庁舎について・・・など
第4回	平成22年 6月27日（日） （東庁舎会議室）	○新庁舎計画（新規案）について ○ワークショップ ・新庁舎について ・既存庁舎・既存施設の利活用について・・・など
第5回	平成22年 7月4日（日） （東庁舎会議室）	○提言作成

稲敷市庁舎建設100人市民会議メンバーリスト

(敬称略)

《市民会議委員》

青木利浩	青木啓泰	青宿忠一	秋本精一	浅野義明
有坂滋子	有坂進	井川一幸	池田敦子	池田信正
石川幸雄	伊藤光江	稲津達	稲箸稔	大谷泰雄
大津勇	岡野治雄	岡野宏子	岡野陽一	岡見武夫
岡本秀幸	小川忠宏	鹿熊美津子	笥信太郎	川口幸一
北川浩	木野内徹	木村忠男	栗山康	黒田功
黒田和義	幸田君子	鴻野忠	小嶋正寿	小菅章雄
酒井千代子	坂本信夫	椎名正克	清水新一	新木邦子
鈴木登美夫	鈴木雅夫	清家眞一	関口邦子	高木清實
高城岑夫	高須耕一	高須行雄	高須力	坪井治
坪井日出男	寺田登	東郷孝子	富澤富生	永長工市
永長忠	中川洋一	中沢仁	長濱英弘	中山和昭
西村勝也	根本浩司	根本節子	根元ひとみ	根本浩
根本優美子	野口幸徳	濱田純男	半田久志	藤代利雄
丸山敏之	水飼茂良	宮本衛市	村塚好一	森永宏幸
諸岡秀樹	柳原一雄	山木廣	山田実	八綿信浩
横田悌次	ワインゲルトナー・ドリス		渡邊正博	

(五十音順)

《筑波大学》

小場瀬令二 (代表)

潮田將	賀集弘貴	上野朋弥	青木俊浩	佐野誠
高橋洋明	細谷脩太郎	風間善光	木田啓子	島崎和樹
楊誠	劉一辰	李双紅	李美花	林慧君
王光興	市倉隆平	禧久裕成	北野竜太	

(順不同)

《稲敷市》

川嶋修	高山久	柳町勝久	糸賀隆司	高須美和
-----	-----	------	------	------

《稲敷市市長公室秘書広聴課政策審議室》

濱田好洋	根本貴章	谷部義也	松田匠司
------	------	------	------

《設計事務所》 (株)安井建築設計事務所

木村直人	喜多浩之	小堤卓	吉岡駿介	上田至一
坂倉忠洋				